

外国語コミュニケーション講座運営等業務に係る質問への回答について

質問	回答	
質問 1	<p>講座の内容は事業提案説明書に「小売、飲食、宿泊、交通をはじめとした」と記載がありますが、4つ以外に娯楽施設などの業態を入れる等、他に想定されている業態はありますか？</p>	<p>提案説明書4(2)に記載の業種は例示です。提案説明書8(1)キに記載のとおり、参加を呼び掛ける企業・団体については提案事項ですので、ご提案をお願いいたします。</p>
質問 2	<p>①講座参加者については、英語・中国語の両方に参加可能でしょうか？ ②また、一般編と個別編の両方に参加可能でしょうか？</p>	<p>①個別編の場合は主催者の判断と考えます。一般編については原則制約を設けることは想定していません。 ②原則制約を設けることは想定していません。</p> <p>※本業務でいう「個別編」の講座は、個別の企業や団体が自社の現場の状況を勘案して、個別に受託者と協議してカリキュラムを作成する講座をいいます。 この場合に、受託者と講座内容等の打合せを行う企業・団体を「主催者」と称しています。</p>
質問 3	<p>①「個別編」の講座内容は「小売」「飲食」「宿泊」「交通」という4つの業態をイメージしていますか？ ②追加で考える必要がある業態はありますか？ ③この場合、受講者が希望すれば、複数の講座に参加可能でしょうか？</p>	<p>①提案説明書4(2)に記載の業種は例示です。講座内容は大まかな業種別の傾向はあるかと思いますが、提案説明書の4(1)イに記載のとおり、個別編は主催者との打ち合わせにより、現場で必要なフレーズ等を盛り込んだカリキュラムとなるので、例示した業種以外の業種の場合は、それぞれ異なる内容となると思います。 ②質問1への回答のとおりです。 ③質問2への回答のとおりです。</p> <p>※個別編講座及び主催者については、質問2への回答をご参照ください。</p>

質問 4	<p>講座の実施スケジュールはどのように考えていますか？ 例えば、同日に複数の講座、複数のコースを実施することは可能ですか？ また、実施時間は業態が異なるため、朝、昼、夕方、夜といつの時間帯でも良いのでしょうか？</p>	<p>提案説明書4(3)に記載の期間内に講座を実施していただきます。スケジュールについては提案説明書8(3)に記載のとおり提案事項です。ご提案をお願いいたします。 同日に複数の講座もしくはコースを実施すること又は講座実施の時間帯については、制限していませんので、提案内容の中で合理的理由やその効果と合わせてご提案いただければと思います。</p>
質問 5	<p>受講者資格として、1つの講座を受講することが前提でしょうか？ 例えば、1つの講座のコマを何日かで実施することになると、受講できない日時が発生すれば資格はないと考えるのでしょうか？</p>	<p>受講者は原則1つの講座の全コマを受講することが前提です。ただし、業務の都合上など、やむを得ない場合に全コマ出席できないことをもって受講資格なしとはみなしません。受講できない回があってもフォローが可能であり、到達目標の達成に支障ない講座構成や体制が取れるのであれば、その内容も併せてご提案ください。</p>
質問 6	<p>個別編において「主催者の確保」とありますが、上記4業態を運営する法人（個人含む）に対して委託事業者から呼びかけを行い、本事業の説明の上、講座企画を含めて事業の実施を主催者が行うということでしょうか？ または、委託事業者が上記4業態等の法人（個人含む）に協力を求めて、あくまでも委託事業者が主催者として本事業を推進していくという認識でも良いのでしょうか？ それとも、MICE推進課様が、委託事業者の提案に基づいて主催予定者との交渉は行うのでしょうか？</p>	<p>個別編においては、受託者（委託事業者）から呼びかけを行って主催者を募り、主催者と打ち合わせを行ったうえで受託者が講座を実施します。 提案者側で主催者として想定する企業・団体があればお示し願います。なお、別途委託者（札幌市）からも、呼び掛けてほしい企業・団体の一覧（5団体程度）をお渡しする予定です。このほか、参加を呼び掛ける企業・団体への働きかけ方についてもご提案をお願いいたします。 ここでいう「主催者」は提案説明書4(2)に記載の「受講者」が所属する企業・団体であり、一個人は「主催者」として想定していません。 ※個別編講座及び主催者については、質問2への回答に記載の注釈をご参照ください。</p>

質問 7	個別編の実施場所に関して、委託事業者が主催者として本事業を推進していく際に、協力頂く4業態の法人（個人含む）の施設内で実施するのでしょうか？それとも、講座内容から資料等を準備すれば会議室等で実施しても良いのでしょうか？	個別編の会場については受託者及び主催者で協議して決めていただきます。いずれかの施設内に限らず、提案説明書4(4)に記載のとおり十分な広さがあれば、会議室等での実施も可能です。経費として見込まれる会場費用等も含めてご提案願います。 ※個別編講座及び主催者については、質問2への回答に記載の注釈をご参照ください。
質問 8	外国人講師とは母語が英語または中国語の人を指しますか？それとも第二言語が英語または中国語の方も対象として良いのでしょうか？	母語が英語又は中国語の方を想定しています。
質問 9	受講者数、本事業の成果を考えて、1コマの授業中に何名の講師を想定していますか？	提案説明書8(3)に記載のとおり、実施体制については提案事項です。ご提案をお願いいたします。
質問 10	①外国人講師、アシスタントについて、事業提案説明書には実績や理由を記載することとありますが、企画提案の段階で担当講師が決まっています、その講師の実績や選定理由を書く必要はあるということでしょうか？ ②それとも、委託事業者として、今までの実績等を記載することでしょうか？	①講師の候補者が決まっているのであれば資格、実績、選考理由を、決まっていない場合は選定基準等を記載いただきたいと思います。 ②提案説明書8(3)アに記載のとおり、提案者さまの過去の実績等は講師、アシスタントについてとは別に示していただくこととしています。
質問 11	①受講者に年齢制限や他の条件などはありますか？ ②また、札幌市在住の人を想定していますか？札幌市内に通勤し、4業態に従事している方は対象外でしょうか？	①提案説明書4(2)に記載のとおりです。常識的な範囲で、提案説明書に記載の受講対象から逸脱していなければ、年齢等の制限を設ける想定はしていません。 ②勤務地が札幌市内であり、提案説明書4(2)に記載の現場で就業している方を想定しています。

質問 12	一般編の受講者の募集については、提案することになっておりますが、募集告知後の問合せ窓口は最初から委託事業者と考えて良いでしょうか？それとも、一度、MICE推進課様を通すことを想定して良いのでしょうか？	問合せ窓口は受託者と想定しています。 提案説明書8(1)カに記載のとおり具体的な問合せ・申込みの対応体制については提案事項ですので、ご提案をお願いいたします。
質問 13	(主催者を委託事業者が確保することを前提とすると) 委託事業者と個別編主催者との契約形態については制約がありますでしょうか？札幌市経済観光局観光課様と委託事業者は業務委託契約となると思いますが、委託事業と個別編主催者が委託契約となれば、「再委託」となるかと思えます。この点に問題はないでしょうか？	個別編講座、主催者については質問2への回答に記載の注釈のとおりです。 個別編の主催者はあくまでも講座内容の要請等を行うのみであり、共通の認識を得るために講座実施要領を作成することなどはあったとしても、受託者と主催者が契約を結ぶことは想定していません。
質問 14	受講者数については、定員を超えた場合の対応はどのように考えれば良いでしょうか？特に一般編の場合、広く告知することにより多くの応募が見込めると考えておりますので。	提案説明書4(1)に記載の受講者数はあくまでも目安です。 一般編の講座実施関係については提案説明書8(1)カに記載のとおり、ご提案をお願いいたします。
質問 15	上記にも繋がりますが、予算内であれば、同一講座を何回か実施し、多くの方に受講してもらう等の対応は可能でしょうか？	提案説明書に記載の実施回数はあくまでも目安です。予算内での実施が可能な回数についてご提案ください。
質問 16	企画提案書作成に関して縦や横などのフォームの指定はありますか？	ありません。ただし、提案説明書10に記載のとおり、A4サイズとしてください。
質問 17	8 提案を求める内容等(1)オ「講師、アシスタント」について、氏名を明示するのでしょうか？	講師の候補者が決まっているのであれば資格・実績、選考理由を、決まっていない場合は選定基準等を示していただくことを想定しています。

質問 18	8 提案を求める内容等（1）キ「個別編の主催者の確保」について、個別編の候補となる企業等の名称を明示するのでしょうか？	提案者側で候補として想定される企業・団体があればお示し願います。ただし、企業名までは要しません。別途、委託者（札幌市）からも呼び掛けてほしい企業・団体の一覧（5団体程度）をお渡しする予定です。このほか、参加を呼び掛ける企業・団体への働きかけ方についてもご提案をお願いいたします。
質問 19	一般編は、英語と中国語をそれぞれ1コマで、何講座開催すればよいのでしょうか？	提案説明書の4「事業の概要」（1）ア④に記載のとおり、各コース1講座開催（目安）としています。
質問 20	一般編は、1コースあたり30～40名程度を目安とし、1講座を開催するのであれば、一回のレッスンに30～40名程度が参加するという意味でしょうか？	お見込みのとおりです。
質問 21	提案説明書8の(1)カについて 周知に必要な経費、及び申込受付に応ずる人員の手配等については、全て必要経費として、企画の中にも含めるという認識で宜しいでしょうか？	お見込みのとおりです。
質問 22	講座で使う教材は、オリジナルのテキストでなければいけないでしょうか？	提案説明書7(1)に記載のとおり、業務内容として教材作成も含むものと想定していますが、個別編主催者からの要望を満たす内容のものであれば、既存の教材の使用も可能と考えます。
質問 23	提案説明書8の(1)カについて 周知に必要な経費、及び申込受付に応ずる人員の手配等については、全て必要経費として、企画の中にも含めるという認識で宜しいでしょうか？	お見込みのとおりです。